



植木北中学校『働き方改革』取組紹介

各学校において、教職員の働き方改革の推進のため、工夫された取組が行われています。今回のニュースレターでは、以前から『働き方改革』に積極的に取り組まれている植木北中学校の実践を紹介します。

1 教職員の意識改革と業務の見直し

①年度初めの職員会議において、今年度の『働き方改革』についての方針を管理職から伝える。

○植木北中学校の働き方改革推進方針

- ・一人ひとりが「勤務時間」を意識した働き方を実現しましょう。
- ・ワークライフバランスを実現することで、仕事への意欲を向上させましょう。
- ・先生方の個々の業務を可能な限り共有化し、スキルやデータの相互活用を進めましょう。
- ・慣例に縛られることなく、組織としての優先順位を明確にし、業務の効率化を図りましょう。

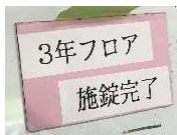
②職員への『働き方改革』についてのアンケート調査の実施と結果分析を通して、実態把握をする。

③校長が、「正規の勤務時間外の在校等時間集計表（持ち帰り仕事の時間を含む）」を個別に作成し、毎月コメントを添えて送付する。その後職員も自身の勤務状況を振り返り校長へ返信する。

④学年部での戸締り（担当場所の戸締りが完了したら、学年のプレート（右写真）を職員室前方の黒板に貼る。）

※先生方からの発案により実施

⑤教職員の勤務時間は8:10～16:40



植木北中学校の先生方インタビュー



学校現場に優秀な人材を呼び込むためにも『働き方改革』は必要です。しかし、規模や環境等、学校の実態は大きく違いますので、それぞれにあったやり方で進めていくことが重要だと感じます。諦めず、できることから取り組んでいます。吉田祐介 校長

先生方の意識が大変高いです。学校全体で『働き方改革』に取り組まれてきた成果だと思います。

教頭としては、先生方との対話を大切にしています。日常的な会話の中から、先生方一人ひとりの状況を把握することができ、業務の見直しにもつながります。

宮本 和美 教頭



2 日課の工夫等による時間創造

①3種の日課表の作成と運用

	月・金	水	火・木
1校時開始時刻	8:30	8:50	8:30
下校時刻	16:05	15:25	15:45

※火・木は掃除なし

②職員朝会は週1回（水曜日のみ）

③毎週水曜日を「ノー部活デー・定時退勤日」と設定し、定時退勤の徹底を図る。

④平日の部活動の活動時間を1時間30分とする。

3 生徒や保護者・地域への発信

①学校だよりにて『働き方改革』に関する記事を掲載し、保護者へ周知する。

②『働き方改革』と持続可能な学校行事の在り方等について、PTA運営委員会の理解を得る。

③今後の学校行事の在り方について、全校生徒にアンケート調査を実施するなど、生徒の意見を学校づくりに生かすようにする。

様々な工夫がなされているのはもちろんのこと、校長先生と教頭先生が連携を密にされ、職員を見守られていることや全職員での意識の統一が図られていることなど、参考になる取組がたくさんありました。

改訂版 全国の学校における働き方改革事例集

文部科学省では、全国の学校における働き方改革の現状を調査され、その結果をまとめた「全国の学校における働き方改革事例集」が出されています。令和4年2月に改訂版が出されており、昨年度のニュースレターでも紹介しています。ここでは、全国の学校で取り組まれている事例が多数掲載されています。

- ・家庭学習のやり方
- ・授業でのプリント配付
- ・クラブ活動・委員会活動のあり方
- ・学校行事の精選
- ・学年ごとの施錠
- ・ICTの活用による教職員間の連絡

参考になるアイデアがたくさんあります。ぜひ、ご一読されてください。

改訂版 全国の学校における働き方改革事例集（令和4年2月）

